

上海グランドオペラハウスの幕が開く

舞台芸術、建築、そして市民の営みをシームレスにつなぐ

黄浦江沿いに位置する上海グランドオペラハウスは、世界で最もダイナミックな都市の一つである上海に、新たな文化的ランドマークとして誕生します。開放的な文化的ランドスケープとなるこの施設は、世界水準の舞台芸術の場と、誰もが気軽に訪れられる公共空間を融合させ、市民や来訪者を等しく招き入れ、文化、建築、そして都市生活と触れ合える場所となります。上海が持つ「開放性」「交流」「革新」の精神を礎に、本プロジェクトは文化へのアクセスを広げると同時に、芸術表現と市民参加のための新たなプラットフォームを創出します。

2016 年の国際コンペティションで Snøhetta の案が選出された後、2019 年には Snøhetta、華東建築設計研究院（ECADI）、シアター・プロジェクト（Theatre Projects）、永田音響設計からなる専門家による国際コンソーシアムが正式に委託され、構想から完成に至るまで本プロジェクトを推進することとなりました。Snøhetta が持つ舞台芸術建築の経験と、現地のパートナーや専門コンサルタントの深い知見を融合させることで、グローバルな視点を持ちつつ、その土地の文脈に的確に応えるアプローチを実現しています。

延床面積 146,786 m²を誇るこのオペラハウスは、伝統的なオペラやクラシック音楽から、新しい多様な観客層に向けた実験的な作品まで、幅広いジャンルのパフォーマンスに対応します。3 つの客席ホールを擁し、総座席数 4,200 席を誇るこの施設は、公演、リハーサル、制作、教育、展示、ホスピタリティといった機能を一つの屋根の下に集約し、充実した設備を備えた本格的なオペラハウスとして運営されます。

「動き」「帰属感」「体験」

本デザインは、「動き」「帰属感」「体験」という、相互に関連し合う 3 つの概念を指針としています。「動き」は建築的かつ社会的なつながり役として機能し、人々が建物に近づき、中に入り、そして建物内部を移動するあり方を形作ります。「帰属感」

は、すべての人を温かく迎え入れる開放的な環境を生み出す、寛容な公共的配慮（シビック・ジェスチャー）を通じて醸成されます。「体験」はデザインの中核を成す要素であり、来館者、観客、そして出演者それぞれにとっての雰囲気や空間のシーケンス（連続性）を決定づけています。

敷地を包み込むような大きな「動き」は、黄浦江の潮の満ち引きや、周囲の都市の鼓動に応答しています。この動きによって形成される一体的な屋根は、レストラン、展示スペース、教育センター、客席ホールといった多様なプログラムを一つにまとめ上げています。相互に繋がった空間は周囲の景観と対話し続け、オペラハウス、都市、そして川の間での視覚的つながりを維持しています。

流動的な境界が都市、ウォーターフロント、そしてランドスケープをつなぎ、公共の領域がプロジェクト全体に拡張し、その内部へと広がることを可能にしています。幾何学的なファサードは、複数の公共レベルを統合して一つのまとまりある全体像を織りなすことでこの連続性を強化し、一方で外装（スキン）は、透明性と保護、開放性と閉鎖性という相反する要素を仲介する役割を果たしています。

屋根は、一年を通じて利用できるステージ、展望デッキ、そして人々が集う場所となり、市民たちの共有所有とを感じる意識を強めます。地上と屋根をつなぐ螺旋階段は、川やスカイラインへの眺望を切り取り、移動する行動そのものを、公共的な体験を特徴づける要素へと変えています。

「パフォーマンス」を建物の中核に据える

大きなガラス面が自然光を主要空間に取り込み、時間や季節の移ろいとともに建物の表情を変化させます。夜間には、外部照明によってステージタワーが光を放つボリュームへと変貌し、屋根やスカイラインに躍動感を与えます。

「動き」を表現する言葉は内部空間にも展開され、互いにつながりながらもそれぞれ独自の個性を持つ一連の空間を形作っています。白い外観とは対照的に、内部には柔らかな素材が用いられ、ギャラリーの床やホールの内壁を構成することで、優れた音響特性にも寄与しています。メインホールは、深みのある暗赤色に染められた一つの大きな塊から削り出されたような空間として感じられます。オペラ上演の要件に基づ

いて設計されたその空間の形状や表面は、人の声と共鳴するように形作られています。

3 つの客席ホールは、雰囲気、規模、技術仕様こそ異なりますが、一つの屋根の下で互いに補完し合い、多種多様な公演形式や観客層に対応しています。素材や色彩のトーンは、暗い色調から明るい色調へと変化していくことで、各ホールの個性を際立たせつつ、空間の間に繊細なヒエラルキーを生み出しています。

オペラハウスの中核をなすのは、2,000 席を擁するメインホールです。1 階アリーナ席、2 階の特別席、そして 3 層のバルコニーからなる 5 つのレベルに客席が配置され、舞台までの視距離を最小限に抑える設計となっています。側壁沿いには小規模なボックス席も組み込まれており、親密な雰囲気を高めるとともに、観客と舞台との一体感を強めています。この客席ホールは、最先端の劇場システムと綿密に調整された音響特性を融合させ、精緻に調律された楽器のような機能性を備えています。

第 2 ホールは 1,200 席を収容でき、より親密な空間で小規模な作品を上演するのに適しています。特にバロック・オペラやクラシックオペラ、オペレッタ(喜歌劇)、地方作品、演劇などに最適です。1,000 席収容の第 3 ホールは、舞台や客席の構成を柔軟に変更できるため、実験的かつ多様な公演形式に対応可能です。伝統的な作品から型にとらわれない作品まで幅広く上演できるほか、周囲の公園や屋上へと広がるパノラマビューも楽しむことができます。

黄浦江沿いの活気あるデスティネーション

設計上の大きな課題は、大規模な劇場施設が持つ技術面・運営面の複雑さと、人々を惹きつける親しみやすい佇まいとを両立させることでした。本プロジェクトでは、多様な機能を統合し、動線を明確にするとともに、公共の通路を分かりやすく魅力的なものにするという統一された建築的アプローチによって、この課題に応えています。これにより、チケット購入者だけが利用できる施設ではなく、開かれた建築のあり方（タイポロジー）として劇場施設を再定義しました。これは Snøhetta が「ノルウェー国立オペラ・バレエ団」と共に探求した手法でもあります。同施設では、一般の人々が自由にアクセスできることが、建物のアイデンティティと成功の不可欠な要素となっています。

来訪者は、必ずしも公演を鑑賞しなくても、この建物を体験することができます。自由に立ち入れる屋上、流れるようにつながる公共エリア、周囲の景観との一体化、レストラン、展示スペース、教育施設などが、公式なイベントから日常的な利用まで支えています。建築と芸術が交差するこの公共の空間は人々を招き、集い、探索し、建物が育む公共的な営みの一部になります。

このオペラハウスは、黄浦江沿いのウォーターフロント形成において積極的な役割を果たし、公共空間を拡張するとともに、万博後灘（Expo Houtan）地区の再生に貢献しています。建物の形状に沿った放射状のレイアウトで構成された周囲のランドスケープは、オペラハウス、公園、都市、そして川の間をつなぐのを強めています。

同様に重要なことは、革新的かつ思慮深いデザインソリューションへの取り組みです。パッシブデザインの手法、景観との融合、自然光の活用といった要素が、建物の環境性能を支え、エネルギー需要の削減に寄与しています。

これらの戦略は、公共生活に対するオペラハウスの幅広い貢献を反映しています。誰もがアクセスしやすく、開かれた環境として構想されたこの施設は、文化的参加や地域コミュニティによる利用を促進し、あらゆる人々にとっての目的地として、長年にわたり価値を持続けることでしょう。

共創が生み出す文化的ランドマーク

上海グランドオペラハウスは、建築、舞台芸術、公共生活、そして絶えず変化する上海の文化的アイデンティティを、ひとつの連続した空間へと融合させています。そのデザインには、都市のダイナミズムや開放性、さらには芸術へのアクセスを拡大しようとする都市の志が反映されています。国内外の建築家、劇場プランナー、音響設計家、技術者、そして職人たちの共創によって進められたこのプロジェクトは、グローバルな視点と、その土地の文脈に即した緻密な応答とを対話させています。

単なる劇場施設という枠を超え、このオペラハウスは、芸術表現と市民生活のための共有の場を創出します。世界水準のパフォーマンスを支える舞台機能に加え、その公共空間は、文化体験を客席ホール内にとどめることなく、都市の日常の営みへと広がっていきます。

今後の予定として、上海グランドオペラハウスを表紙に据えた Snøhetta の作品集『Context and Concept: Selected Works』が、2027 年春に Thames & Hudson 社より世界各国で出版されます。

上海グランドオペラハウス

所在地：上海

製作期間：2016 年～2026 年

状況：完成・開館済み

規模：146,786 m²

クライアント：上海グランドオペラハウス

協力：華東建築設計研究院（ECADI）、シアター・プロジェクト（Theatre Projects）、永田音響設計（Nagata Acoustics）

設計範囲：建築、ランドスケープ・アーキテクチャ、インテリア・アーキテクチャ

用途：劇場施設、公共空間、デスティネーション、レクリエーション、教育施設、ギャラリー、レストラン、ホスピタリティ施設、トランスフォーメーション、ワークスペース・制作施設

写真：Chen Hao, Tian Fangfang, Yumeng Zhu, Honne Dang, StudioSZ Photo | Justin Szeremeta